

分会ニュース

発行責任者 多田 一夫
発行編集者 教 宣 部

平成21年度の上半期には 6日連続出勤が15回以上発生！！

2月5日、会社は「その他のお知らせ」として大二両での休日分散特休付与の継続、及び平成21年度交検体制の変更について口頭で提示してきました。

列車の増発に伴い引き続き検修量が増のため休日の分散特休付与を行う。

内容

1. 上期15日程度見込み、それに伴う交検要員11名増（昨年7名にプラス4名）下期についてはわかり次第提示。
2. 平成21年度の交検体制について、東一の第二検修庫において折り返し出来る体制ができ次第現在1日8本（大阪4、東京4）の交検本数を1日トータル9本（東京1本増）に見直す。
3. 通勤回送時間の変更に伴い始終業就業時刻を大一両、大三両は5分繰り上げ、新大阪支所は10分繰り上げとする予定。

以上のような、会社から提示を受けました。

大二両では、上期（4月から9月まで）の15日程度の分散特休付与が予定されています。それによって、土・日曜日などの連休も激減することになります。

H20年度は21日の分散特休でしたが、H21年度は上期で15日間程度になります。暑い季節を迎える上期に15回以上の6日連続出勤が発生することになるのです。

また、H20年度では出張などで年休が抑制されて旅行をキャンセルするという事態が発生しました。以前は年休が一番でも発給されない日もありました。

私たちJR東海労大二両分会は、H21年度は分散特休をお互いの承認があれば変更が出来るようにすること。また、6日連続出勤をさせないために分散特休を付与し、全社員が6日連続出勤を解消するよう声を上げていきましょう。